



# NEWS

株式会社東部がお届けするインフォメーション・レター

発行所 株式会社東部鉄人二コース事務局  
神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4  
TEL.042-764-4128  
FAX.042-762-9593  
編集 鈴木明子  
https://www.tobu21.co.jp

Vol.162  
2024  
2月号

THE TETSUJIN NEWS

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

## e-pile next

### 他工法と比較の上でe-pile next工法を選定いただきました!

#### 某店舗ビル新築工事

本件は、錦糸町駅からほど近い場所に建設される鉄骨造 地上10階建ての店舗ビル新築工事です。

周辺を商業ビルに囲まれた近接施工で、杭打機の旋回も厳しい現場状況のなか、設計条件としては、鉄骨造10階建ての**塔上建物**のため高い引抜支持力が求められました。設計事務所様の方で、**場所打ち杭**や**既製杭**といった**他工法**との**比較検討**がありましたが、**e-pile next工法**の**高い引抜支持力**、限られたスペースでの近接施工実績、そして**無排土工法**等、工期やコストも含めて総合的な判断のうえ、**e-pile next工法**をご採用いただくことができました。**実施工**に於いても、先端特殊部の**「高力構造」**と貫入性に優れた**「菱形切削孔」**が威力を発揮して確実に支持層を捉え、**全数設計深度**で精度良く打ち止めできたことで、確かな施工品質をご提供することができました。

元請様には搬入誘導や養生鉄板の安全対策等のご協力をいただき安全且つ無事完工できました。

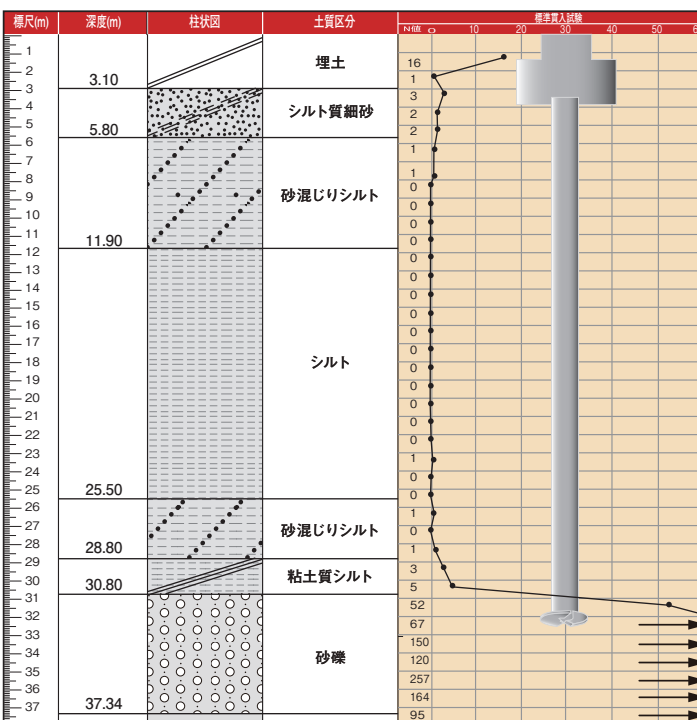
☆ご採用いただきまして、誠に有り難うございました。



## 工事概要

工事名	某店舗ビル新築工事	杭 径	φ406.4 mm、φ355.6 mm、φ267.4 mm
施工地	墨田区江東橋	拡翼径	Dw 900 mm・850 mm、650 mm
用途	飲食店、美容院等の店舗	拡頭径	-
構造	鉄骨造 地上10階	深 度	SGL -32.2m
延床面積	1153.4 m <sup>2</sup>	支持力	872kN ~ 1,733kN
工期	2023年9月25日~2023年10月6日	本 数	22 本

## ボーリング柱状図



## e-pile next

国土交通省大臣認定工法

### 公共土木・公共建築での活用拡大 国土交通省「NETIS」

登録番号: KT-160071-A

- 国土交通大臣認定 TACP-0483 砂質地盤(礫質地盤含む) TACP-0484 粘土質地盤
- 日本建築センター 基礎評定(引抜支持力) BCI評定-FD0540-01 砂質地盤 BCI評定-FD0541-01 礫質地盤 BCI評定-FD0542-01 粘土質地盤
- 日本環境協会 エコマーク認定 08 131022号

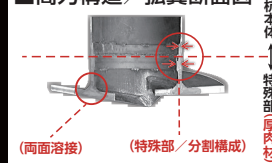
全ての鍵は杭先端にあり

### ■ 全ての鍵は杭先端にあり

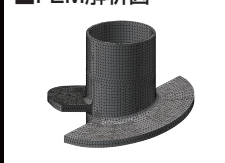
杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

- 貫入性の問題を・・・「**菱型穴**」により解決しました。
- 拡翼変形の問題を・・・「**特殊部**」により解決しました。
- コストの問題を・・・「**自社施工**」により解決しました。

### ■ 高力構造/拡翼断面図



### ■ FEM解析図



建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

e-pile

検索

Tobu 株式会社 東部  
https://e-pile.com

■ 本社  
〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1507-5  
TEL.042-762-4739 FAX.042-762-8971  
■ 本店/ 経理室  
〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1509-4  
TEL.042-764-4128 FAX.042-762-9593

■ 東京営業所  
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-1-2 朝日生命幡ヶ谷ビル6階  
TEL.03-3376-0123 FAX.03-3376-0124  
■ 相模原機材センター  
〒252-0101 神奈川県相模原市緑区町屋1-4-37  
TEL.042-851-2681 FAX.042-851-2682





## 令和6年能登半島地震災害義援金【日本赤十字社】

令和6年能登半島地震で被災された皆さまならびにご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

日本赤十字社では、令和6年能登半島地震災害による義援金を受け付けております。  
 お寄せいただきました義援金は、被災地の方々の生活を支援するため、被災都道府県が設置する義援金配分委員会へ全額をお送りします。  
 ※寄付先には「被災地全域への寄付(日赤本社開設口座)」と「地域を限定しての寄付(日赤支部開設口座)」があります。  
 どちらの寄付でも被災地が1箇所の場合、その都道府県の義援金配分委員会へ全額が送られます。

受付期間: 2024年1月4日(木) から2024年12月27日(金) まで



詳しくは  
 日本赤十字社のHPを  
 ご確認ください



## ワンポイント 健康コラム

<<毎年2月は全国生活習慣病予防月間です!>>



予防月間

生活習慣病予防のため、一般社団法人日本生活習慣病予防協会では日常心がけたい生活習慣をわかりやすく表現した健康標語で「一無、二少、三多」を掲げ、普及啓発活動を行っています。

### ●一無「無煙・禁煙のすすめ」

たばこは万病のもと～喫煙は単独で最大の予防可能な死因!  
 たばこの煙には7,000種類の化学物質、250種類の有害成分が含まれており、その内の70種類以上は発がん性が確認されています。新型たばこ(加熱式たばこや電子たばこ)は、紙巻たばこと比較して有害成分が90%削減されたとしていますが、90%削減されたのは一部の有害成分のみであることが確認されています。

### ●二少「少食・少酒のすすめ」

【少食】食事は腹八分目!「腹八分目に医者いらず」という格言があります。暴飲暴食を控えることは、身体の機能を健康な状態に維持していく上でたいへん重要です。食事療法という言葉がよく生活習慣病で用いられることから、糖尿病、脂質異常症、高血圧などの予防・治療の基本は常に食生活にあります。

【少酒】アルコールは少量をたしなみ、ほどほどに! さまざまな生活習慣病がアルコールと密接に関わっていて、過度の飲酒を長く続けると、多くの病気が誘発される可能性が高まります。もっとも怖い病気がアルコール健康障害(依存症)です。アルコール健康障害による精神的・身体的な影響のために、日常生活に支障が出てきます。

### ●三多「多動・多休・多接のすすめ」

【多動】今より10分多くからだを動かそう!  
 日常生活の中で身体活動量を増やしましょう。座りっぱなしは避け、身体活動ができるだけ多くして、しっかり毎日の生活の中で維持しましょう。

【多休】しっかり休養～こころからだのリフレッシュ! 理想的な睡眠時間は標準的には6～8時間といわれますが、「快適」には個人差があります。あなたの活動量に応じた適正な睡眠時間(目覚めがよく、昼間眠くならない)をとるように心がけましょう。

【多接】多くの人、事、物に接してイキイキした生活を!  
 多くの人と交流し、さまざまな事、物に好奇心をもって接することで創造性豊かなイキイキした生活を送ることが大切です。社会や人とのつながりが途絶えると身体的・精神的な健康障害が起りやすことが科学的に検証されています。 ※一般社団法人日本生活習慣病予防協会HPより引用



## 経理マンが行く

春もすぐそこ

比較的暖かだった去年ですが、やはり1月後半は寒さが厳しくなりました。



みなさまの体調はいかがでしょうか。節分まであと少し。春もすぐそこまで来ています。

さて、今回はDX化の話です。弊社もデータ共有や業務一連の情報管理など問題は山積みです。これを何とかDX化し業務の効率化を計りたいと悩んでいました。個々の部署で作成したものを別の部署へ紙ベースで廻していく...私は昭和の人間ですので、紙ベースは大好きなのですが、紙だらけの事務所になってしまいます。コロナが流行してから、働くスタイルも変わったように、今年の1月から電帳法もインボイスも始まりました。そこでやはりDX化をやってみようと思ったわけです。まずは①アナログだったものをデジタルにする...たとえば、紙だった帳簿を会計ソフトにする、お金のやりとりをバーコード決済にする、商談をオンラインにする、店舗に行く買い物をネットショップにするなど、アナログだったものをデジタルにします。

②生産効率・業務効率が向上し、デジタルデータが蓄積される...デジタル化により業務効率が高まり、生産性が上がります。それとともにノウハウとデジタルデータが蓄積されていきます。実は、このデジタルデータが宝の山なのです。

③デジタル・トランスフォーメーション(ビジネス・組織を変える)...宝の山であるデジタルデータをビジネスに活用します。たとえば、会計データを原価管理や顧客管理に活用したり、バーコード決済データを商品仕入・販促に活用したりします。小規模企業・個人事業主が自社でDXを進めようとしてもなかなか難しい部分も多いと思います。そんな時は、専門家のアドバイスを受けてみましょう。

身近な支援機関としては「よろず支援拠点」「商工会議所」「商工会」などがあります。支援機関では、ITコーディネーターのような専門家からアドバイスを受けることができます。「中小企業119」のサイト等を参考に、支援機関を探してみてください。またDX化することで補助金も受けられます。補助金のなかでも、小規模企業・個人事業主がデジタル化をすすめるうえで、比較的使いやすい補助金が「IT導入補助金」「小規模事業者持続化補助金」です。補助金の申請にあたっては、経営戦略・ビジョンに基づいた事業計画が欠かせません。補助金の要件を満たしたうえで、①まず戦略・ビジョンがあり、②その戦略を実現するためにビジネスモデル・企業組織を変革する必要があり、③そのためにデジタル投資が必要、というロジックが求められます。補助金を活用にあたっては、デジタルデータを活用して、ビジネス・企業組織を変えるという「DX」の考え方が重要になります。実は今からDXに取り組まなければ、2025年にはどんな業種の企業も年間最大12兆円の経済損失が生じる恐れがあるとされています。つまり3年後企業が生き残るためにDX推進が必要不可欠という事なんです。DX推進は企業の存続やビジネスのスケールアップはもちろん、従業員の働きやすさにも大きく関わってきます。DX化は企業にとって大きな変革となりますが、業務の効率化を考えればどうでしょうか。やはり考えるべき課題になると思います。弊社も時間はかかるかもしれませんが、やっと重い腰をあげたところです。

